

公園愛護会だより

NO.16 (2019年12月) 発行 高松市公園愛護会連絡協議会

ご 挨拶

高松市公園愛護会連絡協議会
会 長 樫 昭 二

公園愛護会だよりNO.16の発行にあたり、一言お礼のご挨拶を申し上げます。

公園愛護会は、昨年より2つ増えて、現在158の公園や緑地等で結成され、市民1万5千人以上が愛護会活動に参加していただいておりますことに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、公園は地域住民の交流と憩いの場です。早朝から高齢者がグラウンド・ゴルフを楽しみ、帰りには清掃もしてくれています。昼からは、子どもたちの遊び場として、かわいい声が響きます。公園は地域になくてはならないものです。

ところが、最近では、地域住民にとって公園の果たす役割が変化してきています。今までは、住宅密集地において大規模火災が発生した場合に、延焼・類焼を防ぐ防火緑地帯としての役割が強調されてきました。しかし、地球温暖化が進み、豪雨や台風の大型化で想定外の災害が発生する中で、

① 災害発生時の避難場所

② 災害廃棄物の仮置場

③ 被災地への支援物資の配送拠点などが役割として上げられています。公園の大切さを改めて痛感します。

最後になりましたが、皆様の今後、益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



香西 繁治（片田公園・新川河川敷緑地愛護会長）

高松市環境美化推進運動功労者表彰



片田公園は、新川墓地公園を含めて東西約400m、南北30mに広がる一周1,000m程度の公園です。内にある水路部分（通称ニヨ）は悪水溜めです。周囲には桜の木が40本余り植樹されており、春の満開の時期には、とてもきれいな光景を見ることができます。

一時期には、ニヨの水面に白鳥や鴨等の野鳥が泳いでいたこともありました。元々はベンチや遊具が設置されていましたが、現在では、危険ということで撤去されています。

昭和50年代には、初代の園長である長町氏が、水戸市と姉妹提携をし、友好を深めていたそうです。

この公園は春日町片田に位置し、道路、公園、排水ポンプ場や墓地公園等を含んだ地域最大の公園であり、先輩たちの築いた大切なものであり、守り続けなければならないと思っています。



牛熊 圭介（平塚公園愛護会長）
高松市環境美化推進運動功労者表彰



平塚（ひらつか）公園（2,080㎡）は平成18年に開設され、愛護会が当初から結成された公園です。高松中央インターとレインボーロードの中間に位置し、大池（別名、新池）の西縁に隣接しています。近くには、大きな運動広場のある平塚中央公園、遊戯施設の充実した木太中央公園もあります。平塚公園は池との一体感と広い眺望があり、美しい公園です。

また、マンションから見下ろせて、安心して利用できると言われたお母さんがいましたが、小さなお子様から大人まで、気軽に利用できる公園です。

また、地区のこども会が夏祭りの踊りの練習などの活動に利用し、親子でする清掃活動も恒例になっています。

私たち愛護会は、もっと公園を利用していただけるように今年に入って、素足で歩ける公園を目指して小石拾いも取り組みました。池の堤でウォーキングの途中で一周200m余りですが、素足で歩くのもいいと思います。今後も地域の皆様にとって気持ちのいい公園を目指し、活動を続けたいと思います。



篠原 茂（沖松島新公園愛護会長）

高松市環境美化推進運動功労者表彰



沖松島新公園は福岡町の南東にあり、旧葬祭場の跡地に平成七年十月に誕生した特殊な公園です。面積は4,684㎡とかなり広く、南は御坊川、北には琴電志度線に挟まれた、比較的住宅の少ない閑静な所です。

土・日曜日となると子供達のキャッチボール、サッカーの練習場となり、にぎやかな憩いの場として地域住民に利用されています。

愛護会結成当初は町内会有志や子供会、約百名でスタート。月三交代での清掃活動、年二回の花の植替えは、会員総出の親睦をかねた、楽しい日曜日の一時でした。

会を預かる者として常にコミュニケーションを計りながら、環境美化を実践して来ました。年々、子供の人員が減少し、十年ほど前より0人になり、会員有志も高齢化。現在では少人数で清掃や植栽、花の手入れを実施しています。造園された当時の若木も今は会員の努力の賜物で大木となりました。特に桜は、毎年見事な花を咲かせてくれ、近隣の人々を喜ばせています。現在は築山に水仙を毎年植え足し、水仙の園にしようと頑張っています。桜や水仙の時季には是非お立ち寄り下さい。

この表彰を機に私も高齢ではありますが一日でも長く会員とコミュニケーションを取りながら環境美化活動に取り組んでまいりたいと気持ちを新たにしています。



宮西 信雄（居石ふれあい公園愛護会長）

高松市環境美化推進運動功労者表彰



居石ふれあい公園の清掃活動は毎月1回行われています。草抜き・剪定も行い、毎回ゴミは山のようにたまります。班長さんを中心に、清掃終了後、皆で道具をきちんと片付け、次回の活動日を確認して解散します。さらに、班長さんが、毎回活動日の予告をしてくれるので、皆忘れずに参加できています。お蔭で、地域の人憩いの場、子ども達の集団登校の集合場所としても、気持ちよく使用されています。

平成17年の開設時より植栽した樹木も大きくなって、剪定の大変な時もありますが、公園の近くを通ると緑の木に心癒されます。

春には満開の桜の木の下で、お花見をするご家族や会社の人たちも見られます。秋には収穫したオリーブ漬けを皆で分け合っていていただいています。

地域の人達の交流の一端となっている自治会を中心とした公園愛護会の活動が、このまま根付いてくれることを願っています。



増田 卓美（さこ西公園愛護会長）
高松市環境美化推進運動功労者表彰



地域の公園は、お年寄りから赤ちゃんまで、たくさんの市民の皆さんが、一人で憩う機会の場であったり、友だちと二人で或いは家族でゲームする場であったり、いつでも気軽に心身共にリフレッシュできたり、そこに集まる人と人とのつながりを結ぶ心静かでのどかな休息の場所でもあるように思います。

その公園を少しでもより良い環境にしようと、どこの公園愛護会も奮闘しています。その奮闘ぶりは、雑草との格闘で始まり、雑草との格闘で終わる…と言えるかも知れません。愛護会の精神は、まさに愛護の精神であり、地域公園の環境維持を目指して、それぞれの色合いで懸命に取り組む姿勢こそが公園愛護会の大切な存在なのだろうと思います。

さこ西公園は、平成22年に公園緑地課の『芝生を植えてみませんか…』の声かけに、鶴の一声で芝生化に取り組みました。あれから10年、芝生化でサッカー少年が集まるようになりました。よちよち歩きの赤ちゃんも芝生を歩いて嬉しそうです。お母さんキャッチャーが、野球少年のボールを捕球する光景も微笑ましいです。夏場の芝刈りは気合いが必要ですが、雑草との格闘の終わりは見えません。けれど、公園に咲くキバナコスモスには蝶が舞いながみます。

元気で無邪気に遊ぶお子さんたち 遠慮はいらないから はしゃいでね。



富本 正樹（青木公園愛護会長）
高松市環境美化推進運動功労者表彰



青木公園については、郷東橋を西に渡り、南に4 km程の所にある白鳥がいる池として知られている高月池の傍で、風光明媚な場所に位置する公園です。愛護会の構成については、自治会会員150戸（10班）が母体となっています。班別に毎月清掃に取り組んでおり、毎月第1日曜日が清掃日となっています。この毎月清掃のローテーションについては、今後15年先まで、組み込んでいます。

清掃については、当番日に高松市から補充されている清掃道具を使用し、皆さん和気あいあい、一生懸命に取り組んでいます。また、老人会の方々にも、ゲートボールをしている関係で、時々清掃の応援をしていただいています。よって公園は、常にきれいな状態で管理されています。

公園の使用については、西側には遊具等が設置されているため、小さい子供の遊び場になっており、残り半分の東側は先程述べました老人会の方のゲートボールの憩いの場となっています。

公園には桜の木も多く植わっており、春にはきれいな花が咲いています。2年程前に、公園近くの岩田神社の藤の木の穂を接ぎ木して植えた結果、現在順調に育ってきており、春の季節に紫の花をつけるのを楽しみにしているこのごろです。

当愛護会としても、今後とも現在の活動を続け、現在のようにきれいな状態で次世代に公園をバトンタッチする所存であります。



西谷 建次（扇町公園愛護会長）

高松市環境美化推進運動功労者表彰



扇町公園を、子供会より受けついで約10年位になります。初めは子供会と協同でやっていましたが、あまり人が集まらないので日新老人会でやってほしいと頼まれまして、老人会でやるようになりました。

扇町公園は、元は西浜小学校の後地なので、面積はわかりませんが、かなり広いと思います。東側にあたご神社が有り、北側にJRの線路があります。当初受けついだ時は、公園の東側は草が生えていました。

金の刃鋏で、一生けんめいに草を刈っていましたが、刈っても刈っても生えて来ますので大変でした。役員の中の二、三人の方がすごくまじめにやってくれまして、だいぶ草が少なくなり、よかったなと思っていましたが、まじめな二人の方が病気の為に亡くなり、悲しい思い出があります。今でも感謝しています。

その後栗林の方よりボランティアで草刈りに来てくれた人が一生けんめい夏の暑い日もやってくれ、そういった人達のおかげで、草もだいぶ少なくなり、ありがたいと思っています。

そして、公園内で子供達が遊んでいる姿を見ますと、何かうれしくなります。



交通ミニ公園愛護会（会長 打越 謙司）

高松市環境美化推進運動功労者表彰



交通ミニ公園愛護会発足後、6年経過し、会員相互の親睦も深まりました。お互いに花植え等を通して、コミュニケーションが活れるようになり、年に2～3回は15名程度が一度に集まり、季節の花植え、公園内の草刈り、公園内のトイレ清掃、遊具の点検を各自分かれて行っています。公園は皆が憩える場所ですが、中には犬の散歩をさせ、“フン”を置いて行く、不心得者が後をたちません。

1月頃には、強風の日一人でトイレの清掃作業をしている際にドアが閉まり、閉じ込められた人が居て、近くの人が“人の声がする”と聞きつけ、駆けつけて助けてくれました。その後には、ドアの改修も行われ、安心して便所掃除もでき、会員相互での注意喚起もでき、今後の活動に支障なくできるようになりました。

交通公園なので、子供達が敷地内に白線で横断歩道通路を引き、保護者の方と自転車に安心して乗れる、町内唯一の場所であり、年配の方も公園内でベンチに座り、花を見ながら、子供の声を聞きながら楽しく一時を過ごせています。

これからも、私達は賞を頂いたことを一つの励みにして頑張りたいと思います。そして、会員相互の信頼関係の構築と地域の方とのコミュニケーションを大切に、公園を守って行きたいと思います。



平塚中央公園愛護会（会長 蟻塚 秀雄）

高松市環境美化推進運動功労者表彰



平塚中央公園は、木太町の最も南にあり、林町と伏石町に接しています。この公園は、太田第二土地区画整理事業により、整地された公園です。

公園の広さは約10,000㎡あります。東側に遊具公園と西側に運動広場があり、運動広場は、高さ3mのフェンスで囲まれた広場になっております。

管理は平塚自治会が平塚中央公園愛護会を結成し、公園愛護会員20数名で、毎週月曜日に2名の会員が交代でパトロールと清掃を行っており、毎年6月と10月に自治会全体で奉仕一斉清掃を行っています。

東側の遊具公園には、滑り台、ブランコ、鉄棒、ジャングルジム等があり、親子連れや子供達が、多く見られます。この公園には砂場が無いので、小さな子供のための砂遊び場がほしいです。

西側の運動広場では、よく親子が、キャッチボールやバスケットボール、サッカー等の球技を楽しんで行っており、小学校低学年のサッカークラブの練習場としても利用されています。最近では、グラウンド・ゴルフで、老人会、各種友の会、クラブ団体等の試合にも多く利用されています。

また、公園内には、管理棟もあり、地域の皆様に利用されています。高齢者の憩いの場としての居場所会、集会、習い事にも利用されています。

今後とも地域の皆様の協力と理解をいただき、より良い公園になりますよう努め、自治会・愛護会員の皆様と共に公園管理に取り組んで行きたいと思っております。

寺井下川原公園愛護会（会長 松本 温美）

高松市環境美化推進運動功労者表彰



寺井下川原公園（約505㎡）は琴電一宮駅から約50m南側にあり、5本の大きな楠が繁った、鉄棒、ブランコ、滑り台、砂場があるこじんまりとした公園です。

寺井下川原公園のある団地内には、この公園の他に一宮新開緑地など2か所の小さな緑地があり、これらも愛護会が清掃しています。

公園及び緑地は、今から29年前（平成2年）の団地「一宮ニュータウン」造成時に設置され、市に譲り渡したものです。

公園愛護会は団地住人で構成されており、一斉清掃は年5回実施し、毎回約30名が参加して親睦・情報交換の場となっております。

近隣には寺井幼稚園、一宮幼稚園、一宮小学校、一宮中学校、高松南高校、学習塾等があり、子供たちが賑やかに使っています。また、遠方から車で遊びに来るご家族連れも見受けられます。

今後とも公園・緑地の清掃活動を通じて、団地住人の親睦・情報交換の場として愛護会を維持していきたいと思っています。



花園第一公園愛護会（会長 溝渕 正臣）

高松市環境美化推進運動永年功労者表彰



花園第一公園は、ことでん瓦町駅から東方へ徒歩数分に位置し、花園地区と築地地区の境目にあります。

園内には樹木が多く、四季を通して花や葉が見事に変化し、地域住民の憩いの場となっています。特に桜の開花シーズンには、通行人が立ち止まってスマートフォンで撮影する場ともなっています。

今日の少子化により、子どもたちの遊び楽しむ元気な声が少なくなっているのは残念なことです。公園内の一角には、「老人いこいの家」があり、高齢化した地域での交流の場ともなっています。

こうした公園の清掃は、公園愛護会員が自治会活動の一環として行っています。毎月第3日曜日と落葉時期の11月には毎週ボランティア清掃を行い、会員の交流・親睦の機会ともなっています。

しかし、一方では地域住民が高齢化し、こうした活動への参加者が減少していることや、木々の剪定作業が遅延傾向であること、さらには大きく成長した樹木が暴風雨時に倒木しないかなどの災害対応が喫緊の課題ともなっていますが、それらの対応にも取り組み、今後とも親しまれる公園となるよう管理運営に努めてまいりたいと考えています。



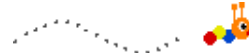
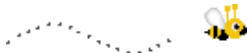
🌻その他、環境美化功労者として表彰された愛護会の公園を紹介いたします🌻

茜町小公園



茜町小公園は、平成26年に設置された公園で、高松市茜町の市街地の中で、市民の憩いの場として親しまれています。

令和元年度高松市環境美化推進運動功労者表彰を受賞されました公園愛護会は平成26年4月に結成され、今日まで愛護活動にご尽力をいただいております。





公園愛護会



香川県緑化功労者表彰がおこなわれました

- ・個人功労者表彰 渡邊 敏雄氏（花園公園愛護会長）
- ・団体功労者表彰 扇町西公園愛護会（会長 石田 雄士氏）



表彰式写真 渡邊会長（写真右から2番目）と石田会長（写真右から3番目）

令和元年5月21日受賞。表彰式にて浜田県知事と撮影しました。

高松市公園愛護会連絡協議会功労者表彰受賞者

- ・永峰 美奈子氏 ・与田 勲氏 ・岡 達巳氏 ・藤澤 吉道氏 ・山口 修氏



令和元年5月3日、フラワーフェスティバルでの表彰式です。

編集後記：今年も暑い日が続き、公園内の樹木管理には皆様方に大変御苦勞をおかけいたしました。ありがとうございました。来るべき2020年が皆様方の良き年でありますよう心から御祈念いたします。